

令和2年

雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和2年3月3日～3月5日】

令和2年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	3/3(火) 9時30分～	15／藤原 信宏	一問一答	1～3	11	3/5(木) 9時30分～	14／細田 実	一問一答	22～23
2		8／細木 照子	一括	3～4	12		1／上代 和美	一問一答	23～25
3	3/3(火) 13時00分～	2／中林 孝	一問一答	4～7	13	3/5(木) 13時00分～	3／松林 孝之	一問一答	25～27
4		21／周藤 正志	一問一答	7～8	14		4／中村 辰眞	一問一答	27～29
5		6／矢壁 正弘	一問一答	8～11					
6	3/4(水) 9時30分～	18／堀江 治之	一問一答	11～13					
7		9／佐藤 隆司	一問一答	13～16					
8	3/4(水) 13時00分～	12／土江 良治	一問一答	16～19					
9		16／堀江 眞	一問一答	19～21					
10		10／藤原 政文	一問一答	21～22					

令和2年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

令和2年2月25日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	15	藤原信宏 (一問一答)	1. 財政運営について	<p>(1) 令和2年度一般会計当初予算編成は、枠配分対象経費に5%のマイナスシーリングを設定して臨まれた。特にどの経費分野の削減に苦勞し、気がかりなサービス低下や制度変更を行った事務事業はなかったか。</p> <p>(2) 経常収支比率が上昇している。如何なる策をもって比率の抑制を図る考えか。</p> <p>(3) 臨時財政対策債の発行可能枠全額を借り続けても大丈夫か。起債の意義について説明を求める。</p> <p>(4) 特定目的基金における「岩倉銅鑠保存施設整備基金」や「鉄の歴史村景観保存基金」等は、利子を積立てるのみで、それぞれの施策展開に十分に有効活用されていないと考えるがどうか。</p> <p>(5) 土地開発基金は、現金より土地が多い。取得した土地について適切に管理運用されてきたと言い難い事例や、今後の財政運営に支障となる長年塩漬けになった土地はないか。</p> <p>(6) 合併特例債は、財政的に有利な地方債であると共に、道路改良延長等の制約のない簡便性もある。局部改良等の積み残し事業を掘り起こして活用すべきと考えるがどうか。</p> <p>(7) 現行過疎法は令和2年度で失効する。ポスト過疎法は是非とも必要だが確定したか。過疎債に大きな制度変更はないか。</p> <p>(8) 健全財政の鍵を握る「公共施設等総合管理計画」の確実な執行に向けた心構え・決意を伺う。</p> <p>(9) 地域の状況を把握し打開するため、積極的に街に、外に出かけ、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 平和行政・教育 の推進について	<p>モチベーションを高く保って、選択と集中・改革の原動力にする「元気な職員」の人材育成の仕掛けについて伺う。</p> <p>(1)NGO 平和首長会議等に参加している。原爆展の開催支援や被爆樹苗木の配布、研修会の開催等、積極的に実施事業を活用することが得策と思うが、市長の平和行政にかける思いに併せ伺う。</p> <p>(2)永井隆記念館の改築、平和賞は第30回、来年は博士没後70年に当たる。この節目に市役所または記念館の庭に「平和を、の都市宣言」の石碑を建立してはどうか。</p> <p>(3)以前に質問した平和行政の推進を謳う「平和条例」の制定について検討されたか。</p> <p>(4)永井博士の功績を顕彰し、「平和を」の願いを生まれ変わる記念館から内外に発信していくために、どのような記念館とし、活用していく考えか教育長に伺う。</p> <p>(5)原爆展や「平和フォトコンテスト」、戦中戦後の暮らし展、「長崎の鐘」等の映画、DVD放映、語り部による講演会等々、市民に参加を呼びかけ精力的なイベント開催、新館の活用を願うがどうか。</p> <p>(6)「平和の鐘」について、鳴ってこそ鐘である。真の平和共存の世界実現を願って人々の心に染み渡らせたい。平和を祈る「鐘の音・打鐘」についての趣向、活用の考えを問う。</p> <p>(7)この節目に、平和行政の取組みを盛り上げる著名人を招いての大きなイベントを企画してはどうか。</p> <p>(8)永井隆博士顕彰基金が枯渇する。事業目的は終えていない。基金の積立てを考えるべきではないか。</p> <p>(9)「永井隆生い立ちの家」の修繕・整備について、実施計画に盛り</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>込んだ整備内容、方針を伺う。</p> <p>(10)長崎市立山里小学校と三刀屋小学校との交流が続いている。修学旅行を含めた交流・平和学習の継続について、市の体制、資金両面での支援を願うがどうか。</p> <p>(11)他の市内各所にある学校の平和教育の取組みを伺う。</p>	
2	8	細 木 照 子 (一 括)	<p>1. 地球温暖化対策には地方から積極的な発言が必要ではないか</p> <p>2. 人口減少の地方も、そんなに慌てず、じっくりと時期を待てば良いと考えるか</p> <p>3. 「高齢者対策部」の設置について</p> <p>4. 食料自給の展望は、どの様に見て</p>	<p>(1)いま地球温暖化の危機が迫っている中で、気候変動国際会議は国連事務総長が「がっかりした」と言う内容で終わった。日本の意見も、評価されず後ろ向きと取られているようだ。こうなれば、安心な地球を真剣に守るためには、中央任せでなく、地方から積極的な発言をして、国を動かし、国際社会を動かし地球を守るしかない。市長の見解を伺う。</p> <p>(1)いま、過疎地方では、人口増加に一生懸命に努力をされている。確かに当面の取り組みとしては、当然の事かもしれない。しかし、専門家に言わせると、人口動態と医療、介護人員予測を見ると、高齢になって東京や首都圏に住み続けるのは危険だ、という意見もある。やはり自然に囲まれた環境こそ、生物にとって一番安心なのかもしれない。市長の見解を伺う。</p> <p>(1)長寿社会となり、人口比率をみても、高齢者の割合は3分の1を超えている。ある意味では、子育てよりも高齢者対策が、より複雑で難しい。高齢者対策をより充実して取り組むためには、「子ども政策局」並みに「高齢者対策部」を設置して対応する必要があると考える。市長の見解を伺う。</p> <p>(1)最新のデータでは、日本の農業就業人口は168万人で、全人口の約1.3%の人々に支えられていると言われる。しかもその66%</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>いるか</p> <p>5. 幼稚園の利用時間の延長は出来ないか</p> <p>6. 学校等公共施設の手洗い場は、きちんとした衛生管理が行き届いているか</p> <p>7. エンジン付き刈払機の事故防止について</p>	<p>は、65歳以上の高齢者である。</p> <p>2018年度の日本の食料自給率が、カロリーベースで37%と過去最低に落ち込んでいる。食糧自給については、政治も、行政も、国民も手遅れにならない様に、今のうちから真剣に手を打たないと、大変な事になるのではないかと。見解を伺う。</p> <p>(1) 少子高齢化の現象を受けて、幼稚園の維持が困難な所がある。住民の皆様の意見を聞くと、幼稚園が午後の2時頃に終わるのが、ご家庭にとって大変大きな問題だと言われる。ご家族が家におられる家庭ならともかく、確かに2時頃の帰宅では厳しい。対応策はないか。</p> <p>(1) いま新型コロナウイルスによる肺炎で世界中が大変である。飛沫感染によるものとされているが、マスクや手洗いが大切だと言われている。そこで、公共施設の手洗い場洗面所の水は、どうすれば出たり、止まったりするようになってきているのか。「カラン」が使われていて、捻る部分が上に付いていると、洗う前の指先で触った所を、洗った後で、また、触ることになる。ウイルス等を問題にする場合、これで大丈夫か伺う。</p> <p>(1) 私たち農作業で刈り払い機をよく使う者も、使用中に危険を感じることもある。市民の方へ刈り払い機の危険性を広く周知し、刈り払い機を使う方も、側にいる方も、危険が多い事を理解していただくよう、事故防止に努められたい。</p>	
3	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 産業対策について	<p>(1) 食の幸発信推進事業が動き始める。当初予定よりオープン時期が遅れているが、出荷作物の準備体制に問題は生じないか。</p> <p>(2) TPPは米国が加入しないまま発足した。その後、米国とは自</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 「身体教育医学 研究所うんなん」 について	<p>由貿易協定が発効し実質的にT P P並みの協定となった。本市の農 林畜産業に与える影響をどう捉え、対策するか。</p> <p>(3) 市産木材利用促進ガイドラインが策定された。市産材利用にあ たって木材市場がない、J A S 認定の製材所がない、その他の川下 の問題が指摘されている。どう対処するか。</p> <p>(4) 山林所有者が所有権を手放す事例がある。所有権が本市と関わ りのない事業者に譲渡された場合、本市の森林整備計画に影響を及 ぼすことが懸念される。実態把握が急がれるが現状はどうなってい るか、また、どう対応するか。こうした事例を未然防止するため森 林経営に関する相談窓口やスタッフの充実も必要ではないか。</p> <p>(5) 消費税引き上げ後、個人事業主にとって初の納税時期 (1/1～ 3/31) を迎えている。事務負担が大きいと言われるが本市内の事業 者への支援体制は十分か。</p> <p>(6) 中小企業者にとって厚生年金の拡大、最低賃金の引上げ、人手 不足に対処するため賃金引上げ、インボイスの導入など様々な負担 感が増加している、支援が必要ではないか。</p> <p>(7) G D P 速報値が急速に落ち込んでいる。本市内の事業所で影響 を受け始めている企業はないか。また、この情勢が続けば様々な業 種に影響が出てくると思われるが対策が必要ではないか。</p> <p>(1) 意義と目的、年間予算と陣容について伺う。</p> <p>(2) 本研究所の成果について伺う。</p> <p>(3) 市民にとって存在感が薄い。成果や知見がどのように市民生活 に反映されているか。</p> <p>(4) 市内の体育施設や交流センターとの連携が必要ではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 市役所職員について</p> <p>4. 公共交通について</p>	<p>(5) 公益財団法人化が検討されている。目的は何か。</p> <p>(6) 市民生活に本当に必要な組織か。</p> <p>(1) 正規職員と非正規職員の人数を伺う。また、その割合は適正と考えるか。</p> <p>(2) 次年度から会計年度任用職員制度が始まる。このことにより職員の人数や本市が負担する費用はどのように変化するか（物件費から人件費に振り替えていくら増加するか）。</p> <p>(3) この数年、幹部（ベテラン）職員の定年退職が相次ぐ。現場は回るか。市民生活に影響がないか。</p> <p>(4) 中堅職員、若手の職員をどのように育てるか。</p> <p>(1) 網形成計画の素案が示された。現状、本市における公共交通の最大の課題は何か。どのように対処していくか。</p> <p>(2) 網形成計画には広域連携も求められる。雲南市地域公共交通協議会は十分に機能したか。近隣自治体や県との連携がもっと必要ではないか。</p> <p>(3) 今後策定予定の立地適正化計画との整合性は取られるか。</p> <p>(4) J R 西日本からトロッコ列車の運行期間を令和 3 年度まで延長すると表明された。当面、息をつないだ格好であるが、その後の姿が見えない。トロッコ列車あるいはその他の観光列車の新造を行政としても真剣に考え、J R 西日本と協議すべき時ではないか。</p> <p>(5) トロッコ列車と本市の観光振興、産業振興をどう結び付けるか。</p> <p>(6) 本市は 21 世紀出雲空港整備利用促進協議会負担金を拠出している。出雲空港のネットワーク強化や空港設備（含駐車場）の充実を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				県に訴えるべきではないか。	
4	21	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 地方財政計画と 新年度予算について 2. 幼稚園の休園と 子育て支援策につ いて	一般財源総額及び地方交付税総額とも前年度を上回る地方財政計画が示されたが、それに的確に対応する新年度予算になっているか。 (1) 浸水被害が相次いでいることから河川の堆積土砂の撤去を行う緊急浚渫推進事業が創設されたが、どう対応しているか。 (2) 森林環境譲与税の譲与額が前倒しで増額となったが、適切に対処しているか。 (3) ICTインフラ整備の推進及び先端的な情報通信技術導入の推進に係る財政措置が講じられることになったが、どう活用するのか。 (4) 不採算地区の中核的な公立病院に対する特別交付税措置が創設されたが、どう活用するのか。また、要件となっている新改革プランの策定はどうするのか。 (5) 会計年度任用職員制度の期末手当支給等に係る経費が計上されている。本市における制度移行は適切に行なわれるのか。(任用、賃金、労働条件等) (6) 職員の賃金カット終了により公共施設小規模修繕事業が予算縮小(3,000万円→1,000万円)されたが、これでいいのか。 (1) 西日登幼稚園と鍋山幼稚園が休園となるが、休園にしない手立てが不十分だったのではないか。また、今後の方針と対応はどうするのか。 (2) 寺領幼稚園は、対象児がいるにもかかわらず利用が少ない。6時すぎまで預けることができれば利用は増えると思うが、どうしていくのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. これから必要となる教育について</p> <p>4. シニア世代の人材活用について</p> <p>5. 地方創生と今後の自治制度について</p>	<p>(3)きすき児童クラブでは、5・6年生の申込みが1名だけとのことであるが、何か問題があるのではないか。</p> <p>(4)障がい児を持つ保護者の悩みや不安を少しでも解消するためにも、保護者同士をつなげる仕組みや体制を行政がきちんと後押しすべきではないか。</p> <p>(1)日本、世界ともに民主主義が危機に瀕している状況の中で、主権者教育にしっかり取り組まねばならないのではないか。</p> <p>(2)SDG'sは持続可能な世界の実現のために定められた世界共通の目標であることから、2030年、2040年を生きる生徒・児童にこそ、これを教育に取り入れ、考え学ばせるべきではないか。</p> <p>年金支給年齢の引き上げや定年延長が議論される中、生産年齢人口の減少による人手不足が深刻化している。米子市ではシニア世代就活フェアが実施されたが、シニア世代の人材活用はどう取り組むのか。</p> <p>(1)第1期まち・ひと・しごと総合戦略について、国全体の成果をどうとらえ、市としてどう総括しているのか。また第2期の取り組みにどう活かしているのか。</p> <p>(2)第32次地方制度調査会において、「自治体の個人情報保護条例を法律で統制し、一定の条件を備えた事業者が自治体保有の情報（ビッグデータ）の提供を求めたとき、遅滞なくこれに応じなければならない。」とする議論がなされている。所見を伺う。</p> <p>(3)雲南市民憲章を制定する気はないのか。</p>	
5	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 持続可能な地域対策について	(1)持続可能な地域対策について ①全国での限界集落は、2019年度2万カ所を超え4年間で6千カ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>所増加し、特に中国地方で多くあると報道された。県内では西部に集中しているようだが、本市内での調査は行われたのか伺う。</p> <p>②過疎法の指定地域がある市町村で、今後 10 年以内に消滅する、また、消滅する可能性がある集落は合わせて全体の 5%あると統計が出ている。本市の状況を伺う。</p> <p>③限界集落増加の大きな要因は人口の減少にある。本市は昨年 1 年間で人口の社会減が 298 人だった。人口の社会増へ向けて多くの施策を推進してきたが、大幅な減となった要因はどこにあると考えているのか伺う。</p> <p>④人口増加に向けた取り組みの中で、20～30 代の若者世代への大胆な施策を展開するとあるがどのような施策を考えているのか見解を伺う。</p> <p>⑤限界集落は山間部の交通の便が悪い地域に多く見られ、高齢者の免許保持率も高いと思われる。免許返納も大事だが、元気な方には国が行っている車への安全システム設置の支援に上乗せを考えてはと思うが見解を伺う。</p> <p>⑥中山間地域に若者を呼びこむためには、ケーブルテレビの光伝送路化は早期に実現すべきと思うが見解を伺う。</p> <p>(2)国道 54 号線サイクリングロード活性化について</p> <p>①中国横断自動車道尾道松江線の開通に伴い、国道 54 号線沿いの活性化対策が急務となった。本市では、国・県と平成 27～29 年度にかけてサイクリングロードの整備をおこなった。その後、活性化につながっているのか状況を伺う。</p> <p>②本年 6 月に、やまなみ街道自転車版駅伝が開催される。本市の受</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 教育について	<p>け入れ体制は整っているのか伺う。</p> <p>③近年、各地でサイクリングロードが整備されイベントが開催されている。本市も独自にやまなみ街道を基本とし、周辺の名所旧跡を巡るコースを設定し地域の活性化につなげるイベントを開催してはと思うが見解を伺う。</p> <p>(1) 少人数学級編制見直しについて</p> <p>①市長は少人数学級編制見直しについて、現在の制度が児童生徒にとって良い制度であり保護者や教職員の評価も高いことから、当初、現状の制度維持の考えを示された。その後、知事との意見交換の中で検証結果が示されたことを踏まえ「異論なし」との考えを示された。この結論は、学校現場の声に耳を傾け、教育委員会等、庁舎内で十分に精査されての結論だったのか見解を伺う。</p> <p>②校長先生方との懇談の中で、県の検証結果は現場の声が十分に反映されていないとのことだった。今後、県に対し2項目の事項を強く要望するとしているが、その他にも本市の状況を踏まえた要望事項があり対応が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>③見直しが実施されれば、教員の減少等で部活動削減など多くの影響が出てくると思われる。本市の対応はどのようにするのか伺う。</p> <p>(2) 小中一貫学園化構想について</p> <p>①小中一貫学園化構想が示された。本市内の中学校区すべてに当てはめるとメリットよりもデメリットのほうが多いと思われる。小中一貫学園化を実施するに当たり一番のメリットはどこにあるのか伺う。</p> <p>②本市では1中学校区で複数の小学校が存在する 경우가多く、構想</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 医療について 4. マイナンバーカードについて	<p>を現実化するにはハードルが高いと思われるが見解を伺う。</p> <p>③加茂町・掛合町のように1中学校区1小学校であれば義務教育学校化を図る上でも良い構想だと思う。加茂町・掛合町の中学校区の義務教育学校化を一番の方針にして進めてはと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)新型コロナウイルスについて</p> <p>①全国的に新型コロナウイルスの蔓延が問題となっている。島根県では感染者は出ていないようだが対策は必要と考える。本市の対応を伺う。</p> <p>②雲南市立病院は第二種感染症指定医療機関に指定されている。県内の他病院では新型肺炎患者受け入れのシミュレーションが行われたようだが、雲南市立病院では対応がなされているのか伺う。</p> <p>③全国的にマスクの不足が懸念されている。医療機関でのマスク不足も深刻のようだ、インフルエンザの流行も心配されるが本市の対応を伺う。</p> <p>(1)本市では、マイナンバーカードの発行率が11%と低迷している。中学生以下のマイナンバーカード受け取りには保護者が同伴しなければならないが休みが合わず受け取りに行けない、1カ月に1日でも休日窓口の開設ができれば受け取れるとのことだった。休日窓口の開設ができないか見解を伺う。</p>	
6	18	堀江治之 (一問一答)	1. 雲南市のシンボル指定について 2. 「暮らしの便利帳」の再発行につ	<p>(1)現在雲南市のシンボルとして、花は桜、木はイチョウとされているが、コウノトリを市の鳥として指定の考えはないのか伺う。</p> <p>(1)平成28年4月に発行された雲南市の「暮らしの便利帳」に記載されている組織機構・各種制度・電話番号・各種料金等が変更され</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>いて</p> <p>3. マイナンバーカードの普及について</p> <p>4. 人口問題について</p>	<p>た内容もあり、再発行の考えはないのか伺う。</p> <p>(1) 政府は消費税増税対策としてプレミアム付き商品券発行事業を実施するも十分な効果が見込まれないことから、マイナンバーカードを活用し新たなポイント還元事業や健康保険証として使用することが検討されている。市の現状と今後の取組方針について伺う。</p> <p>①プレミアム付商品券の発行状況について伺う。</p> <p>②マイナンバーカードの交付が伸び悩んでいると聞くが、その現状について伺う。</p> <p>③昨年よりマイナンバーカードを利用しての住民票等のコンビニ交付が可能となったが、その利用状況について伺う。</p> <p>④マイナンバーカードの交付促進について、今後どのような対応をされるのか伺う。</p> <p>(1) 人口減少にブレーキが掛からないが、その現状と今後の取組方針について伺う。</p> <p>①第2次雲南市総合計画の後期がスタートするが、令和6年の目標人口36,500人は厳しいと言いつつも変更はしないと言われているが、今もその考えは変わらないのか伺う。</p> <p>②最大の予算収入である国からの地方交付税の算定額は、国勢調査による人口に大きく影響されるが、今年度の国勢調査による人口見込と、それに見合う影響額の見込について伺う。</p> <p>③さまざまな人口減対策の施策を打つもブレーキは掛からず、更に拍車がかかる現状に今後どう対応する考えなのか伺う。</p> <p>④地域によっては人口減の加速により地域の維持が厳しい地域もあると聞く、一方人口が益々増え続ける地域もあり、この両極端な地</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 特別会計生活排水処理事業の地方公営企業会計移行について	<p>域に対する今後の施策方針について伺う。</p> <p>(1) 令和2年度より特別会計の生活排水処理事業が地方公営企業会計に移行となるが、その経営・運営方針について伺う。</p> <p>① 地方公営企業としての会計並びに運営方針の概要について伺う。</p> <p>② 公共下水道以外の生活排水処理事業の今後の取組運営方針について伺う。</p> <p>③ 資本的収支予算の4条予算での不足する額については、平準化債を充当すると言われているが、その借入額と何時まで借入での対応とする考えなのか伺う。</p> <p>④ 一般会計・特別会計には無い減価償却費を3条予算の収益的支出に計上が必要となるが、その対応として、収益的収入を増やす必要が有る。その対応方針について伺う。</p>	
7	9	佐藤隆司 (一問一答)	1. 雲南市さくらの会の問題とさくらのまちづくりについて	<p>(1) 12月定例会で市さくらの会の正常化に向けて市としても介入し総会開催を行うとのことであった。市が介入されたにもかかわらず、今日まで総会の開催がされていないことに対し、市の責任においても詳らかに説明されることが求められる。</p> <p>① 「全国さくらシンポジウムへ吾郷理事の参加が4回か5回か」は調査が不調に終わっているとのことで曖昧のままである。12月時点で吾郷会長からは4回出席の証拠があると言われていることから、慎重に調査・確認をすべきであると質したがどのように対応されたのか。</p> <p>② その調査結果について市としてどう介入され、そのことをどう判断されているのか。</p> <p>③ 12月には市の方針で今後のさくらの会の体制の見直しについて</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>の答弁がされたが、まずはさくらの会の正常化がされなければならないと考える。会則では会長が総会を招集することとなっていると再三答弁されたが、その後吾郷会長に確認したが、会長からは総会開催については昨年5月以降口頭で何度もし、7月12日付けの文書でも指示しているとのことであったがどうか。</p> <p>④12月答弁では、総会開催に向けて理事会の日程調整を経てからのことであった。また、市としても早い時期に総会を開催したいとのことであったが、なぜさくらの会の総会が開催されないのか。</p> <p>⑤市としても介入されているが、現在どのような状況となっているのか。また、市としてさくらの会の正常化に向けどう考えておられるのか。</p> <p>⑥市の花を桜とされ、さくらのまちづくりを標榜している市として、さくらの会の問題が長期化にしていることは決して好ましいことではなく、市民の多くにさくらに対するイメージを失墜させることにつながっている。市として介入されたことから、それを管理・監督される市長の責任ではないか。</p> <p>(2) 斐伊川堤防桜並木が日本さくら名所100選に認定されてから30周年を迎えることから、記念事業をするとの市長所信表明がされた。</p> <p>①20周年記念事業はどのように行われたのか。</p> <p>②30周年記念事業はどのような計画の考えか。</p> <p>(3) 「斐伊川堤防桜並木再生プロジェクト(仮称)」と「赤川堤防河津桜延伸プロジェクト(仮称)」について</p> <p>①斐伊川堤防桜並木は、1920年河川管理者の許可を得て桜の苗木</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市の一般競争入札制度と公共事業等による市内経済について	<p>を植栽されたと木次町誌に記されており 100 年を迎えている。通常ソメイヨシノサクラは、60 年～70 年が寿命と言われており桜並木の再生は喫緊の課題である。「斐伊川堤防桜並木再生プロジェクト（仮称）」を立ち上げ桜並木を再生する取り組みが必要ではないか。</p> <p>②大東町春殖地区の赤川堤防沿いの河津桜の並木は、2001 年に植栽されてから 19 年目の若木である。今後更に見ごたえのあるさくら名所につなげるためにも「赤川堤防河津桜延伸プロジェクト（仮称）」を立ち上げ、河津桜をできる限り延伸植栽をする取り組みが必要ではないか。</p> <p>(1)市の一般競争入札は、平成 27 年度から予定価格が事前公表から事後公表に変更された。その検証結果と今後の対応について</p> <p>①一般競争入札制度の予定価格の事前公表と事後公表のメリット・デメリットの認識は。</p> <p>②予定価格公表について全国の市町村と県内の市町村の取り組みの現状は。</p> <p>③事後公表されてから 5 年が経過するが、事後公表の入札方式の検証と今後の対応について伺う。</p> <p>(2)人口の急減に歯止めが掛からない中、少子高齢化が加速していくことが負のスパイラルを生じさせ地域内経済が縮小傾向になることを危惧する。</p> <p>①市内経済の現状と将来動向についてどう分析されているのか。</p> <p>②市中心市街地活性化事業、清嵐荘改築整備事業、食の幸発信推進事業の基本方針で共通する点をどう認識されているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>③一般会計の新年度予算 293 億 7 千万円の予算編成は、各部局が苦心されての結果と考える。そうした予算は限りなく市民サービス、市内経済効果につながるために「最小の経費で最大の効果」を目指されなければならないと考えるが見解を伺う。</p> <p>④市内経済に大きな影響を及ぼす公共事業は、現状どのような入札要件や基準で格付けされ入札をされているのか。</p> <p>⑤公共事業は本市の基幹産業であり、市内経済への好循環につながる誘導策の一つと捉えているが見解を伺う。</p>	
8	12	土江良治 (一問一答)	1. 携帯電話不感 10 地区、24 世帯の解消について	<p>昨年 11 月中旬、掛合町へ「議会と語ろう会」に出かけた。その時携帯電話の恩恵に浴することができない。何とかならないかと懇願された。早速担当課へ話した。ちょうど今は通信事業者にエリア拡大の要望に出かけるところだ、できれば地元の方も直接出かけてお願いして欲しい旨話された。</p> <p>現在市内には不感地 10 地区、24 世帯があるという。そこで伺う。</p> <p>(1) 10 地区の分布状況とそれぞれの世帯数、人数を問う。そして市役所に伺った時話されていた通信事業者訪問の反応はどうであったか伺う。</p> <p>(2) 電波不感は集落消滅へ舵を切る。市もこれまで「不感地域」の解消に向け山間部へ電波を中継するため、平成 24 年頃まで積極的に鉄塔施設建設を進めてこられたほか、一方ではエリア拡大要望のため通信事業者訪問の成果でここまで絞り込まれたと聞いている。「限界集落」及びその「予備軍」を多く抱える雲南市において生活の利便性の低さ解消に向けて今後の対応策を伺う。</p> <p>(3) 鉄塔施設の整備費用は大きさにもよるが、1 基当り 2 千万円～6</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 出雲国たたら風土記「日本遺産」認定から4年、認定の経済的効果と世界遺産への取組み状況と今後のストーリーについて	<p>千万円と高額であるらしい。さらに通信事業者各社は設置後も鉄塔施設を維持管理しなければならないため、採算上の問題で過疎地域ほど整備に二の足を踏む。そんな状況下、仮に市で基地局建設の意向を示しても、通信事業者の事業参画が見込めない状況にあるとのこと。そこで、門外漢の素人的提案を試みたい。仮に市で基地局建設した場合、協力通信事業者の固定資産税減免等の便宜を与えるなどのことは考えられないか伺う。</p> <p>日本遺産は日本文化を国内外に発信することで地域活性化の一環として文化庁が平成27年度から始めたもので、国は東京オリンピック・パラリンピックの今年まで100件の認定を目指すとしていたから、すでに随分量産され物珍しさも消えつつある。日本国中遺産だらけの中で集客に苦しんでいる認定済日本遺産も多いと思われる。</p> <p>(1)「日本遺産」という看板がどこまで観光客誘致に役立つようにしているのか。またこの看板をどう利用し交流人口増や経済効果にどう結びつけているのか、具体的な数字で示して欲しい。(2)いま、日本遺産認定というあの興奮の平成28年4月の余韻は全くない。当然認定がゴールではなく、活力を生み出す源泉にしなければならない。直近に迫った東京オリンピック・パラリンピック。そのパラリンピックの開会式は8月25日国立劇場で行われる。そこで披露される石見神楽の10演目のうち、特に外国人観光客の度肝を抜くのが、50頭もの大蛇がステージに登場する、花形演目の「大蛇」。演目ごとに由来の説明があると思われるが、迫力満点の大蛇の舞台は、たたらに起因する斐伊川のことであり提案したい。国立劇場入口に出雲の国たたら風土記の日本遺産認定パンフレットを置</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 清嵐荘国道側外観壁の誘客仕様への変更と、湯村温泉「薬湯の名湯」など故事来歴掲示板のロビーへの設置について	<p>くことや、石見神楽の本場、県西部に行く前に、おろち神話舞台の本場は雲南市、奥出雲町ですと観光客誘致を働きかけてはどうだろう。これでこそ出雲・石見の相乗効果ではないだろうか。</p> <p>(3)認定興奮さめやらぬ中、市長は、次は世界遺産登録を目指す声高に表明されていた。その後どのように進められているだろうかとの思いからの質問。</p> <p>松江城は国宝になって5周年。いま世界遺産登録を目指して松江・松本・犬山の3市で国宝天守を「近代城郭の天守群」として文化庁の「世界遺産登録までの流れ4つの内の第1である「国内の暫定リストに記載」に要望するなど、着々と積極的に進められているので、そこで伺う。</p> <p>まず第1に外国人観光客にも理解しやすいストーリーは作られているのか。また2市1町が連携をもちつつ、住民と一体となった登録への機運を高める必要があるが、それはどのようなようになっているのか。これまで登録に向けた具体的な取組み展開があれば聞きたい。</p> <p>2点ほど提言申し上げる。新築となった建物外観は斐伊川側からでなく、国道側からのみ見ることになる。黒ずんだ色ののっぺらぼうの外壁は異様であり、とても誘客能力は認められない。営業棟も宿泊棟も黒い壁面は殺風景であるとほとんどの人が思う。壁面にも働いてもらわなければならない。</p> <p>(1)例えば左側の営業棟入口近くの、上壁面に原稿用紙の枠面に短く、「出雲国風土記(抜粋)即ち川辺に薬湯あり・・・」と白文字の縦書き文字。右側の宿泊棟は壁面も大きく所在地が吉田町だから、吉田くんの入浴風景か、大きく「いらっしやい」姿を表現して</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>はどうだろうか。</p> <p>(2)この湯村温泉は出雲国風土記に、即ち川辺に薬湯ありと記載されている。入浴客は1297年も前から薬湯と言われていたなど知るよしもないし、薬効すら分からない。中世には三沢為虎の支配する薬湯となり、傷ついた自軍兵士の湯治場としていたこと、近代では文人墨客来遊どころとなり、清嵐の名付け親となった京都南画壇の重鎮、田能村直入、直近では昭和43年・昭和58年の松本清張などなど。玄関ロビーの一角にこれら故事来歴を記した大きな掲示板を超早急に取り付ける必要があると思われるがどうか。</p>	
9	16	堀 江 眞 (一問一答)	<p>1. 周辺地域の憂い について</p> <p>2. F T T H 伝送路</p>	<p>道路整備について</p> <p>(1)市内を通る県道・市道で大型改良が必要な道路は何路線残っているのか伺う。</p> <p>(2)隣接自治体と接続する周辺道路が未改良のまま残っている。1.5車線改良、待避所設置、側溝の蓋掛けなど安全対策上も早期の改良が必要と思う。今後どのような計画になっているのか伺う。(吉田頓原線、吉田奥出雲線、掛合上阿井線など)</p> <p>(3)主要道路(国道・県道・市道)特にトンネル内の照明が暗い、センターラインが消えて危険という声がある。定期的に点検修繕が必要と思うが見解を伺う。</p> <p>(4)市道小木・大宝線の現状と見通しについて改めて伺う。開通できるか。</p> <p>(5)深野教員住宅について、放置は許されないと思うがその後どう対処されるか。</p> <p>市内ケーブルテレビ通信設備の更新計画が示された。接続に時間が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>改良について</p> <p>3. 清嵐荘について</p> <p>4. 菅谷高殿について</p>	<p>かかることが多くなったので、改良には大いに期待している。</p> <p>(1)光ファイバー化されてインターネットの接続が早くなるのか。</p> <p>(2)5G時代が来るのは早いといわれている。日進月歩の通信技術について、貸与と維持管理のバスターなど幅広く、十二分に検討されたいと思うが見解を伺う。</p> <p>(1)旧清嵐荘にあったお宝が新清嵐荘に一つも復元されていない。具体的には、内藤伸先生の 稲田姫像（清嵐荘所蔵）や、出雲国風土記「漆仁川の辺に薬湯あり」の扁額・野崎國臣先生書、田部松露亭先生作のイノシシの大皿・コウタケ・わらびゼンマイの陶板等々、どうなっているのか。なぜ飾られないのか伺う。</p> <p>(2)清嵐荘の名前の由来について、田能村直入が「京都の嵐山に似ているから小嵐峡だ」と名付けたところに由来していると聞く。関連する逸話が多く残っている。掘り起こして広くPRしていくべきと思うがどうか。</p> <p>(3)島根県短歌界の重鎮だった小滝空明先生の短歌碑について、どこの所有か伺う。また一夏過ぎると大草に覆われる。駐車場の一角か適所に移転すべきと思うが考えを伺う。</p> <p>(4)清嵐荘の周辺整備について、周辺全体の開発を考えるとのことだったが新年度予算に考慮されているのか伺う。</p> <p>瑞風号が6月で一区切り11月まで運休されるという。</p> <p>(1)これまでの評価、特に経済効果についてどのように評価されているか。</p> <p>(2)再開後のためにも、たたら関連遺構の整備が望まれる。予算と職員が足りないという答弁だった。雲南市を代表する観光資源に思</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>い切った投資が必要ではないか。</p> <p>(3) たたらの評価はマスコミ評価も高い。「官民が方向性を共有し、ともに活用を目指す動きに積極的に参画することが急がれる」とコメントしている。市長の思いを聞く。</p>	
10	10	藤原政文 (一問一答)	<p>1. 防災について</p> <p>2. コウノトリについて</p> <p>3. 学校教育について</p>	<p>(1) デジタル防災行政無線事業について、市民に対する説明を含め今後のスケジュールを伺う。</p> <p>(2) 「防災士導入」、「防災士資格取得助成」についての検討状況、見込みは。</p> <p>(3) 地すべり対策について</p> <p>① 地すべり対策は、「国土強靱化地域計画」に組み込まれないのか。</p> <p>② 何らかの対策を講じなければならない箇所は、何か所程度あるのか。</p> <p>③ 現在、要望が出ている地域の採択見込みはどうか。</p> <p>(1) 4年連続、市内で営巣した。「定着」と認識できる。「コウノトリと共生するまちづくり」を謳う本市の鳥にコウノトリを制定すべきと考える。見解を伺う。</p> <p>(1) ICT、AI社会が急速に進展していく中、これまでの経験則ではとても予測が困難な社会の中に子供たちは生きている。そんな社会で生きていくための「教育」が求められており、教育の本質が問われたり、学校形態の移行（義務教育学校、小中一貫校など）、学校の魅力化をはじめ、さまざまな学校改革が進められている。そのような中、令和2年度、本市の学校教育はどうなるのか、何を求めていくのか、特徴的な点、主だった点について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 第2次雲南市総合計画（後期基本計画・第2期総合戦略）（案）について	(1)本計画の最終年度における目標人口は、これまでと変わらず36,500人とされている。これまで議会でも議論されてきているが、実態に即した目標設定にすべきだ。どのような議論がされ、なぜ達成困難な目標値が設定されたのか。目標値を変える考えはないか。	
11	14	細田 実 (一問一答)	1. 新型コロナウイルス対策について 2. 周辺地域の振興策について 3. 市内産業の振興と公共事業について	(1)新型コロナウイルス感染が広がっている。今後、島根県、また、市内でも感染があることも考えられる。それに対する危機管理体制を取っておく必要があるのではないかと。 ①行政の対策について ア、防災部と健康福祉部の連携が重要では。 イ、各種イベントに対する対応をどうするのか。 ②雲南市立病院の対応について 報道によると松江市立病院で感染者受け入れを想定しての訓練が行われた。雲南市立病院も二種感染症指定医療機関であるが受け入れを想定しているのか。 中山間地域である雲南市においては周辺地域に人ありだ。周辺地域の振興、人口対策なくして、中心地域の発展もないと考える。本年度は周辺地域の振興策をどのような施策で行う考えか。 (1)木次こども園新園舎建設工事の建築主体工事一般競争入札において ①経営事項審査P点について、代表者が1,150点と高く市内企業は「他一社」としてしか参加できない。雲南市は市内企業の育成を考えないのかとの指摘を受けている。また、機械設備においても900点以上と庁舎、市立病院、統合給食センター建設より点数が高く設	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 特別職の報酬の 取り扱いについて	<p>定されておりなぜかとの指摘がある。その決定過程、経過を伺う。</p> <p>②市内企業の育成、入札参加でチャレンジできる施策を展開すべきではないか。</p> <p>(1) 市長は特別職の報酬について、特別職報酬等審議会の答申を尊重することを基本とし、市長、副市長、教育長の減額措置をこの3月をもって終了すること。また、議員の報酬について報酬の引き上げを今年の10月1日をもって行う条例改正を9月議会に提案される方針を先の全員協議会に説明された。同じ答申をうけ、なぜ3月と10月の実施なのか。議員報酬改定10月からの実施の根拠はなにか。</p> <p>(2) 特別職報酬審議会の答申において「報酬等の改定時期については、令和2年4月1日からとして検討を重ねてきた。しかしながら、雲南市議会9月定例会に対する市民の声が審議会委員にも届いており、これを看過できないため、令和2年12月1日とした。」とされた。</p> <p>「看過できない」内容は議事録がなく事務局も同席しておらず不明とのことだが、今でも不明なのか。報酬改定に考慮されているのか。</p> <p>(3) 情報公開が重要な行政において、決定過程の記録がないのは行政不信を招くと思うが今後の取り扱いをどのように考えているか。 (報酬審議に限らず)</p>	
12	1	上代和美 (一問一答)	1. 新型コロナウイルス肺炎対策について	<p>(1) 市としての対応（窓口、情報提供など）はどうなっているのか。</p> <p>(2) 雲南市立病院は指定病院になっているが、対応マニュアルはど</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 国保の負担軽減 について</p> <p>3. 地域経済の振興 について</p> <p>4. 大東ふれあい運</p>	<p>うなっているか。</p> <p>(3) 国保資格証の方には、短期保険証を出して万全を期すべきではないか。</p> <p>(1) 高すぎる保険料を何とかしてほしいという声を多くから聞く。2020年度当初予算では、基金を4,593.7万円取り崩して予算化されているが、保険料をどう見積もられているのか。</p> <p>(2) 都道府県化により、県には財政安定化基金が新設されている。市が基金を過大に積み立てる必要はないのではないか。市の財政調整基金を取り崩して、保険料引き下げに活用すべきではないか。</p> <p>(3) 子育て世帯の均等割軽減助成を以前の一般質問で提案した。全額助成にはどれだけの試算になるのか。</p> <p>(4) 協会けんぽに比べて、子育て世帯にとって負担がおおよそ倍となる。均等割助成で子育て支援すべきではないか。</p> <p>(1) 市民の安心・安全の最も大きな要望の一つは防災対策である。公共事業の重点を防災、減災、老朽化対策におくことで地域経済の振興を図るべきではないか。</p> <p>(2) 住宅リフォームや店舗リフォームなど地域経済に波及効果が大きい事業を拡充すべきではないか。</p> <p>(3) 地域経済、地域社会の再生を目指すためにも、「家族農業の10年」が求めるあらゆる家族農業の振興を視野に入れた施策が必要である。農業者戸別所得補償制度の復活を国に求めるとともに、他自治体の施策も参考にし、市独自でもすべての家族農業応援施策を講じるべきではないか。</p> <p>大東ふれあい運動場はさまざまなスポーツイベントに使用されてい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>動場の駐車場増設について</p> <p>5. ジェンダー平等について</p>	<p>るが、例えば、市内小学校の連合体育会時など駐車場が少なく、保護者の方々が困っておられる。駐車場の増設に利用を考えるべきではないか。</p> <p>(1)日本のジェンダーギャップ指数が2019年度は121位であったことについての所感は。また市における男女共同参画の状況の所感について伺う。</p> <p>(2)さまざまな政策形成において、男女共同参画、多様な意見が取り入れられるような視点での人材登用をすべきである。</p> <p>(3)ジェンダー平等については、男女平等にとどまらず、憲法13条の個人の尊重や幸福追求権の問題になっている。一人ひとりの“その人らしさ”を尊重し、認め合うことがたいせつにされなければならない。学校教育や生涯学習が重要ではないか。</p>	
13	3	松林孝之 (一問一答)	1. 雇用施策について	<p>(1)神原企業団地は竣工と同時に進出企業も決まり、第2期プランが示された。企業誘致は多くの雇用を生むこととなり地域経済の振興には大きな影響となる。一方、他市では大企業の進出により働き手の奪い合いが起きている。市外からの誘致を進めると同時に市内事業者の事業承継枠と起業枠を確保し、地場企業が継続的な雇用創出ができる仕組みも必要ではないか。</p> <p>(2)人口減少は「働き手不足」と直結し、地場企業は人手不足が大きな課題となり、投資控えや事業の縮小を余儀なくされる事態となっている。働き手不足解消の具体策は。</p> <p>(3)働き手不足解消の着眼点において有効な地域人材として、高齢者、障がい者、若年層のひきこもり者にスポットを当てる。</p> <p>①元気な高齢者は、コミュニケーション能力は元より広いジャンル</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 観光施策と交流 人口について	<p>の経験と知識を有する貴重な働き手である。地場企業とのマッチング次第では相当の力になると考える。高齢者雇用の実態と今後のビジョン、また、受け入れる側(企業)への支援策を問う。</p> <p>②出雲養護学校雲南分教室の卒業生は、市内で就労する確率が高く貴重な若者人材である。在校時から職場体験として市内へ出かけ、就労へと繋げることは企業においてもプラスである。障がい者の自立と企業のチャンスをプロデュースする支援策を構築してはどうか。</p> <p>③今、全国的に若年層のひきこもりが大きな社会課題となっていて、市内においても同様である。様々なきっかけでひきこもりに陥ってしまった若者の社会復帰と、そこから繋がる就労は地域にとっても大きな一歩と考える。岡山県総社市では2017年4月に全国初となる「ひきこもり支援センター」を開設し地域との交流などから社会復帰の手助けを行っている。すべての人にチャレンジしやすいまち雲南であるからこそ、支援策を検討すべきではないか。</p> <p>(1) 中心市街地活性化事業はコトリエットがオープンし、年度内にはビジネスホテル着工との発表があった。昨年リニューアルオープンした清嵐荘と共に、受入れのハード整備は整いつつある。本市への入込客数の増加は元より宿泊率の向上が期待されるが、ソフト施策が重要である。交流人口拡大の具体策を問う。</p> <p>(2) 「春…さくら・夏…夏祭り・秋…収穫・冬…料理とお酒」といった本市の歴史と文化、地元産品と市内事業者や市民が「おもてなし」する観光施策「うんなん物語」を展開してはどうか。市外は元より市民の周遊策にも繋がり、地域間交流の大きな波も期待できる</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 体育施設と島根 国体について 4. 人口対策につい て	<p>と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1) 体育施設の計画的更新とあり方は、総論賛成各論反対とも成りかねない重要かつ難しい課題である。令和 11 年開催予定の島根国体において本市は何の競技を何処で開催するのかこそ施設整備のスタートラインである。種目は市単独で決めることは出来ず、県や他市町との兼ね合いもあることから、地域や各種団体との協議を早急に始めるべきではないか。</p> <p>(1) 第 2 次総合計画の後期を迎える令和 2 年度は、これまで以上に人口対策に力を注ぐとされた。人口対策は、定住人口、交流人口、関係人口等様々な切り口の対策が必要であり、公共施設のようなハード対策と暮らしを豊かにするソフト事業の両輪で進めなければならない。予算と時間は「待ったなし」である。市長の決意を伺う。</p>	
14	4	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 若年性認知症に ついて 2. 対感染症への備 蓄品放出について	<p>認知症については、2 期生の勉強会でサポーター研修を受けた経緯がある。最近、若年性認知症に対する相談をいただくことがある。</p> <p>(1) 若年性認知症の定義を伺う。</p> <p>(2) 若年性認知症への対応のあり方は、認知症サポーター研修で学んだ対応で良いと考えているが、年齢的なことを考慮し特に気をつけなければならない事はないのか伺う。</p> <p>(3) 年齢的に就労に対する不安が大きいと考える。若年性認知症に対する就労支援及びサポート体制について伺う。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大が全国的に不安を与えている。さらに感染予防に役立つマスクの不足が社会現象化している中で、医療現場におけるマスク不足は深刻なものと受け止める。本市の備蓄品の中にはマスクがあり、マスクの品薄が顕著となりかけた頃に備蓄</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 庁舎内緊急時対応マニュアル作成について</p> <p>4. 少人数学級見直しについて</p>	<p>マスクの放出について考えを伝えた。</p> <p>(1) 市立病院を始め市内各医療機関および福祉関係事業所等に備蓄マスクの放出する考はないか伺う。</p> <p>(2) 市立病院にはストックがあると思うが、現在のような状況下においてマスクに対する不安はないか、現在の状況と合わせて伺う。</p> <p>(3) 学校現場における感染予防に対する取り組みを伺う。</p> <p>(4) 障がい者や高齢者には基礎疾患のある方々の利用がある。福祉事業所におけるマスク着用の現状を伺う。</p> <p>昨年6月定例会において、迷惑行為者等に対応する緊急的なことに対応するマニュアルの作成を提案した。救急対応や迷惑行為などの突発的な事象については臨機に対応が必要。「適切な対応を示したマニュアルを早急に策定いたしまして、臨機に対応が図れるようにしてまいりたい。」との答弁だった。その後確認をするとまだ策定されてないと聞く。来庁者や職員の緊急時にきわめて大切なものと考え。いつ策定されるのか伺う。</p> <p>島根県が示した少人数学級の見直しについては、賛否あるものと認識している。その中で見えてこない部分について確認をする。</p> <p>(1) 特別支援学級に在籍する子供達には、必ず母体となる学級がある。少人数学級の見直しが特別支援学級に在籍する子供達に及ぼす影響は少なからずあるように思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 雲南圏域の中学校の通級指導教員の増員については、市長及び教育長から、県に対して幾度となく要望をしている事と承知しているが、未だに1人である。少人数学級の見直しで教員数が削減されようとしている中において、今後通級指導教員の増員はどのようなの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 学校施設について	か見解を伺う。 長い期間使用できないトイレがある。一時的な修繕ではなく根本的な改修が必要と考えるが見解を伺う。	